

# 「アロチノロール塩酸塩錠」と「アロプリノール錠」の販売名類似による 取り違え の防止について

2012年8月



## 医師、薬剤師、医療関係者の皆様へ

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、医療事故防止などの観点から、「医療用後発医薬品の承認申請にあたっての販売名の命名に関する留意事項について（薬食審査発第0922001号）」などにより、医薬品の一般名を販売名とする後発医薬品が増えております。そのような中、日頃よりご愛顧いただいております弊社の高血圧症・狭心症・不整脈・本態性振戦治療剤**アロチノロール塩酸塩錠 5mg「日医工」**および**アロチノロール塩酸塩錠 10mg「日医工」**と高尿酸血症治療剤である**アロプリノール(一般名)を販売名の一部とする製品**では、販売名が類似していることにより、新たな医薬品の取り違えが起きることが懸念されています。

これらの薬剤をご使用いただく際には、薬効及び販売名等を今一度ご確認いただき、取り違えに十分ご注意くださいますようお願いいたします。

医療過誤を防止するため、医療関係者の皆様への注意喚起の一環として、予測される医薬品の取り違えが起こりうるケースを想定した資料を作成いたしました。参考として頂ければ幸いです。

※なお、資料中のアロチノロール塩酸塩の記載は一部「アロチノロール」と省略しています。

何卒ご理解を賜り、医薬品の適正使用推進にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

# アロチノロール・アロプリノール 取り違えのシミュレーション

医師の、処方オーダリングによる  
薬剤の選択時。



アロ	決定
アロチノロール塩酸塩錠5mg「日医工」	
アロチノロール塩酸塩錠10mg「日医工」	
アロプリノール錠50mg「123」	
アロプリノール錠100mg「123」	

保険薬局薬剤師の調剤時。  
後発医薬品に変更しようとして。



アロチノロールとアロプリノールは

- 1 「アロ○○○ール」となるため似ている
- 2 5, 10mgと50, 100mgの2規格があり  
“5”と“10”的部分が同じである
- 3 ともに錠剤である ことから取り違えを招く恐れがあります。

上記のように頭2文字などで検索すると似た名称が表示されてしまい、誤った選択をしてしまう可能性があります。

今回の事例では3文字以上の入力で取り違えを防止することができます。

薬名の前後に、薬効分類名を表示させることも取り違えの防止に有効とされています。

前述のようにアロチノロールとアロプリノールは名称が類似しているため、**思い込みによるミス**により取り違えにつながってしまう可能性があります。さらに、両薬のいずれか、または両方が未採用の場合には、その危険性はより高まると考えられます。  
間違いやすい医薬品一覧を用意し、把握することも重要です。

また、薬局で採用されている医薬品のうち、類似している名称のものがある場合は名称だけではなく、包装や効能効果など、あらかじめ異なる部分を確認し、スタッフ間で共有することで事故防止につながります。

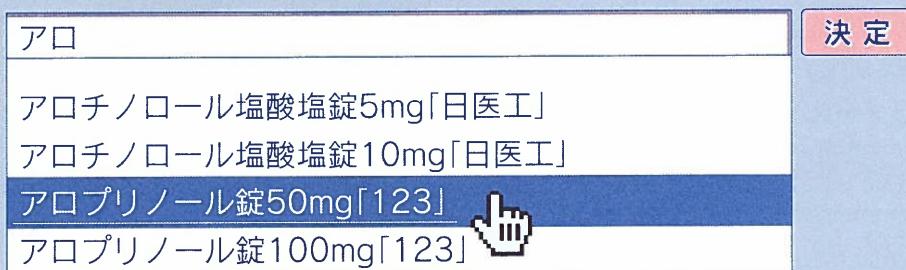


# の薬名類似による取り違えの注意喚起について

薬名が類似している医薬品の確実な処方・調剤をお願いいたします。

	予測されるヒヤリ・ハット事例	対策案
医師	処方オーダリングシステムの入力時に、少ない文字数で検索した結果、冒頭の読みが同一な別の医薬品を選択してしまった。(図1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品の検索についてはできるだけ多くの字数を入力し、精度の高い絞込みを行う。</li> <li>ハイリスク薬や取り違えが想定される医薬品については、注意・確認を促す警告表示を充実させる。または、薬効を表示させる。</li> </ul>
薬剤師	後発医薬品希望の患者さんが来局。処方せんに記載された医薬品名から、後発医薬品を探す際に、思い込みによって名称が類似した異なる医薬品を準備してしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>初処方の患者さんには特に充分な確認を行う。</li> <li>採用、未採用にかかわらず、類似する薬名の確認と情報収集。</li> <li>複数のチェックが入る環境づくり。</li> </ul>

図1.処方オーダリングシステムのイメージ図



## お問い合わせ先

日医工株式会社 お客様サポートセンター

0120-517-215